

海外安全対策情報第3四半期

トリニダード・トバゴ

1. 社会・治安情勢

7月に安倍総理が来訪し、14カ国の首脳・閣僚との間で日・カリコム首脳会議及び二国間会談を実施、本会議は成功に終わった。内政では、8月にスポーツ関連プログラムにかかる汚職・不正疑惑を追求されたロバーツ・スポーツ大臣が辞任した。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

警察当局からの犯罪発生件数報告によれば、第3四半期（7月～9月）の主な犯罪の発生件数は2,670件と前期（4月～6月）と比較して約16.6%の増加となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

一般窃盗	: 550件（前期比+31.3%）
住居等侵入及び侵入盗	: 644件（同 +16.0%）
殺人	: 98件（同 -5.8%）
強盗	: 606件（同 +10.6%）
性犯罪	: 178件（同 +39.1%）
誘拐	: 15件（同 +25.0%）
薬物犯罪	: 56件（同 -31.7%減）

全体的に発生件数は増加傾向であると言える

性犯罪及び窃盗事件の増加が目立っている。引き続き強盗事件が増加しており、治安の悪化傾向に歯止めがかかっていない様子が見える。

3. 邦人被害事案

当該情報には接していない。

4. テロ・爆弾事件発生状況

当該情報には接していない。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

第3四半期には15件の誘拐事件が発生したが、大半はギャング間の抗争や麻薬取引に関する事案である。身代金目的の誘拐事件の発生は1件であった。

6. 日本企業の安全に関わる諸問題

当地日本企業の安全に関わる問題は特段生じていない。